

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 林道事業

箇所名: 大尾大日山線

照会者: 森林所有者11名、森林組合関係者2名、関係市町4

担当課: 森林整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・沿線での搬出間伐や主伐に林道を利用している。 ・事業継続を要望する。 ・早期完成を望む。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
2	事業継続を要望	・事業継続を要望する。 ・地域における林業従事者の定住や、水源上流地域の環境保全のためにも、受益者として事業に協力する。	・事業効果が早期に発現されるよう、事業を継続し早期完成を目指す。
3	事業継続を要望	・林道を活用している。 ・事業継続、早期開通を要望する。 ・既設林道の管理もよくしてほしい。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・林道管理については管理者である地元市町へ情報提供する。 ・林道管理者である地元市町と調整するとともに、管理面を含めたトータルコストを検討した設計に努める。
4	事業継続を要望	・大型車の通行可能な道が素材生産には必要不可欠。 ・経営計画の樹立にも直結する。 ・完成区間は良好な状態を維持できるよう、定期的な修繕も望む。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・林道管理については管理者である地元市町へ情報提供する。 ・林道管理者である地元市町と調整するとともに、管理面を含めたトータルコストを検討した設計に努める。
5	事業継続を要望	・林道を活用している。 ・事業継続、開通を要望する。 ・大尾山-田河内間の迂回路としても期待。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
6	事業継続を要望	・沿線に山林や旧住宅を所有しているため、林道を活用している。 ・事業継続、早期開通を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
7	事業継続を要望	・林道を活用している。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
8	事業継続を要望	・林道を活用している。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
9	事業継続を要望	・沿線には豊富な森林資源や観光名所があり、早期の開通を望む。 ・木材の安定供給のため、林道の維持修繕も要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・林道管理については管理者である地元市町へ情報提供する。 ・林道管理者である地元市町と調整するとともに、管理面を含めたトータルコストを検討した設計に努める。
10	事業継続を要望	・林道を活用している。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
11	事業継続を要望	・林業には道が必要不可欠。 ・林道を活用しており、事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
12	事業継続を要望	・沿線で森林経営計画を策定している。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
13	事業継続を要望	・林道を活用している。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
14	事業継続を要望	・林道の開設により森林資源が活用できる。 ・他の道路との接続が増え、災害時の迂回路としても活用できる。 ・完了後の維持管理にも配慮を望む。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・林道管理者である地元市町と調整するとともに、管理面を含めたトータルコストを検討した設計に努める。
15	事業継続を要望	・地域林業の活性化、近隣市町との交流促進、災害時の迂回路としての活用、歴史・文化施設を結ぶ観光道路など、多くの効果が期待される。 ・完成した連絡区間は、舗装による機能強化を望む。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・林道管理者である市町と連携した機能強化もあわせて検討していく。
16	事業継続を要望	・森林施業のみならず、災害時の迂回路としても期待が高まっている。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。
17	事業継続を要望	・地域の森林管理や林業経営を行う上で重要な基幹道路。 ・災害時の迂回路や、観光道路など多面的な機能を有する。 ・事業の継続を要望する。	・早期開通に向けて事業を継続する。 ・地元市町と調整し早期完成を目指す。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 林道事業

箇所名: 俵峰門屋線

照会者: 森林所有者7名、森林組合関係者1名、林業事業者1社、関係市1

担当課: 森林整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道の開設による木材搬出経費が軽減される。</li> <li>林道の開設により山に人の手が入り、間伐などによる災害に強い山づくりができる。</li> <li>水源涵養や治山の観点からも重要であり継続を要望。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道が開設され、手の入れられなかった山林の整備が可能となった。</li> <li>事業の継続と、早期の全線開通を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道を活用している。</li> <li>門屋工区が後わずかです。</li> <li>さらにスピーディーな事業継続を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境を守るためにも森林が大事だと思っている。</li> <li>事業の継続を要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
5	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道を活用している。</li> <li>事業の継続、早期完成を要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛妻地区から山林に入れる道は農道しかなく、自分の森林に行くには麓から歩かなければならず、現状では管理が難しい。</li> <li>林道の早期開通を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
7	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>門屋地区工事区間が残りわずかとなり、少しでも早く開通することを望む。</li> <li>林道が開設されれば、山林に手が入られるようになり、また他町内の農道を経由しなくても山林に行くことができ大変便利になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
8	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>門屋地区から牛妻地区にかけて森林経営計画の策定を進めている。</li> <li>作業道整備や間伐、木材搬出を計画しており、木材の有効利用、森林整備を進めるためにも、事業継続を要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
9	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道ができたことにより、作業道を整備しながら間伐を実施している。林が良くなっている。</li> <li>早期全線開通を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>市と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
10	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道整備が遅れている地域であり、森林施業の実施のためには、林道が不可欠。</li> <li>事業の継続を要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> </ul>

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道135号伊東市吉田～川奈拡幅

照会者: 道路改築事業の受益者(行政協力員等)

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	継続を要望	早期着工・完成を要望する。渋滞解消により市民の生活を保全して欲しい。	交差点間単位で部分供用を図る等、早期整備効果の発現を目指し、効率的に事業を推進していく。
2	継続を要望	交差点付近を工事して、きちんとした広い交差点にして欲しい。車が詰まらないよう右折レーンを長く確保して欲しい。	交差点前後の工事は事業効果が高いため、現在、殿山交差点～川奈口交差点間において優先的に用地を取得し、工事に着手していき事業を推進する。
3	継続を要望	渋滞解消が一番の希望。それによる救急搬送や観光イメージの向上が重要である。	交差点前後の工事は事業効果が高いため、現在、殿山交差点～川奈口交差点間において優先的に用地を取得し、工事に着手していき事業を推進する。
12	継続を要望	(四車線化により)渋滞解消が期待できる。観光地『伊東』にとって、プラスになることを期待する。	伊東市の観光入込客数も増加しており、渋滞の緩和とともに、観光産業の活性化に寄与するものと考えている。
9	継続を要望	4車線になれば事故も多くなるのが不安。吉田で渋滞が多く発生しているが、4車線になれば、解消されると思う。全線が4車線になるまでは、どこかで渋滞は起きるので、安全第一で考えて欲しい。	道路計画において、接続する市道を信号交差点へ集約する等、引き続き伊東警察署と協議を図っていく。
10	継続を要望	吉田地区(吉田新町から吉田口)が常に渋滞している。国道から生活道路としての市道へ入ってくる際のスピードが速いため危険である。	本道路計画では、取付け道路の形状を構造規格に合致するよう計画されており、安全性が向上するものと考えている。
4	継続を要望	消防司令として、行楽時の交通渋滞の緩和や、災害時の輸送路の確保のために、事業継続を要望する。	緊急時や有事の際に、道路の持つ機能が確保されるよう、事業を推進し渋滞の緩和を図っていく。
5	継続を要望	バス運行者として渋滞緩和を要望。事業区間内で伊東駅バス到着時間が遅れると、JR伊東特急の乗車に間に合わない時があり、利用者に迷惑を掛けてしまう。早期完成を希望する。	交差点間単位で部分供用を図る等、早期整備効果の発現を目指し、効率的に事業を推進していく。4車線化により、走行時間の定時制が確保されるため、バス等の運行の定時制も確保されるものと考えている。
6	継続を要望	渋滞解消のために、早期完成を希望する。	交差点間単位で部分供用を図る等、早期整備効果の発現を目指し、効率的に事業を推進していく。
7	継続を要望	国道135号吉田地区の交通渋滞は、一碧湖入口の交差点ガストの信号機～エネオスタンドの交差点が近いいため、日常的な交通渋滞をしている。区画整理南交差点(セブンイレブン)～三の原交差点手前(ハウスクリーニング)までの歩道がないため危険なので、歩道を要望する。	歩道も計画されているため、歩行者の安全性・利便性も向上するものと考えている。
8	継続を要望	現状の観光シーズンの渋滞に鑑みて、事業継続を希望する。吉田から赤沢までの間もシーズン中は渋滞するのが現状。特に浮山から八幡野信号機の所までは抜け道が無い。同様に(国)135号以外の抜け道がない場所を優先して、車線を計画して欲しい。周りの要望でもある(全交通安全協会支部長として)。	当該以南の渋滞や代替路の無い状況については、県事業や市事業と連携して解消していく。
11	継続を要望	事業対象の地区にショッピングモールや飲食雑貨店が集中し、郊外の生活重要地区になっている。渋滞時間は買い物避け、連休は食品の買いだめや外出を避け、生活スケジュールを無理に変え不便が多い。地元の人々の生活や交流がスムーズになるようにして欲しい。	交差点間単位で部分供用を図る等、早期整備効果の発現を目指し、効率的に事業を推進していく。
13	継続を要望	渋滞損失額の減少、特に川奈口交差点～一碧子入口交差点の区間において直接効果があると思われるが、本線の旅行速度が上がるため、接続道路からの流入の安全性を確保して欲しい。	接続道路からの流入については、道路計画において安全な接続を考慮している。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道136号下船原バイパス

照会者: 道路改築事業の受益者10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	永年の計画であり、早期完成を住民は望んでいる。計画に遅れない様、整備を希望。	国で整備を進めている天城北道路との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	渋滞緩和のためにも、早期の完成を望む。	週末や観光シーズンを中心に慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。国で整備を進めている天城北道路との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	付替えの用水路も含めて、早期の完成を望む。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	できるだけ早期の完成を望む。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	早期の開通を望む。出口交差点ではGWや休日に渋滞する。	週末や観光シーズンを中心に慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。国で整備を進めている天城北道路との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	計画に遅れることなく、予定どおりに進めてほしい。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	道路の完成により、136号線への近道となり、観光を含めた活性化が期待される	国で整備を進めている天城北道路との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	早期の完成を望む。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	観光客の誘客増を望む。	国と一体で整備を進める当事業の完成により、交通のボトルネックが解消されるため、観光客の誘客にも資するものであるため、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	天城北道路の開通に間に合わなければ、大きな渋滞箇所となってしまう。	国で整備を進めている天城北道路との連携を一層密にし、天城北道路の開通に遅れることなく、工程管理を徹底し、早期完成を目指し事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 道路改築事業

箇所名: 江間改築事業

照会者: 道路改築事業の受益者10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	早期の完成を望む。	引き続き、効果的な道路整備を務めるとともに、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	地域の発展、渋滞の緩和のため事業継続を要望する。	引き続き、効果的な道路整備を務めるとともに、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	早期の完成を望む。	引き続き、効果的な道路整備を務めるとともに、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	事業の継続を望む。	引き続き、効果的な道路整備を務めるとともに、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	早期完成を望み、事業継続を強く要望する。	当該工区は、東京五輪の自転車競技の会場までのアクセルートであり、世界遺産の構成資産である韭山反射炉や観光施設が多数存在しており、アクセス道路の円滑な交通が確保されることで、観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	早期完成を望み、事業継続を強く要望致します。	当該工区は、東京五輪の自転車競技の会場までのアクセルートであり、世界遺産の構成資産である韭山反射炉や観光施設が多数存在しており、アクセス道路の円滑な交通が確保されることで、観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	事業を継続していただきたいと思います。	当該工区は世界遺産の構成資産である韭山反射炉や観光施設が多数存在しており、アクセス道路の円滑な交通が確保されることで、観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	可能な限り早期の完成を望む。	当該工区は世界遺産の構成資産である韭山反射炉や観光施設が多数存在しており、アクセス道路の円滑な交通が確保されることで、観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	一日も早い完成を望む。	引き続き、効果的な道路整備を務めるとともに、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	事業継続を要望する。	引き続き、効果的な道路整備を務めるとともに、早期完成を目指して事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道150号 磐南Ⅱバイパス

照会者: 道路整備事業の受益者 10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	国道150号については、旧福田町エリアは交通量が多く信号も12基があり、慢性的に渋滞が発生している。 また市街地を通過していることから、自動車・自転車の走行や歩行者の移動においても安全性(交通事故多発)が危惧され、加えて自動車騒音に悩まされている地域住民も多い。 ぜひ道路の幅に加えて歩道整備を望む。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。 また、バイパス整備にあたっては歩道設置を計画している。 磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	現在の国道150号線は、全体的に慢性的な渋滞が発生している。 特に福田地区は信号のある交差点が多いため、通勤時間帯や土日などに多く渋滞が発生していることで不便を感じている。 このため、国道150号線バイパス工事が早期に完了され、渋滞が緩和されることを強く要望する。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。 磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	旧福田町地内に通る150号線の交通量が多いため、早期のバイパス完成を希望する。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。 磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	未整備区域では、朝夕の交通渋滞が慢性化しており、整備を進めることにより、通勤時間の短縮が図られると思われる。早期の完成を望む。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。 磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	平成30年9月より遠州大橋が無料となり、それまでに塩新田の橋の手前までのバイパスを整備を希望する。現在、朝夕渋滞している掛塚橋の緩和にもつながる。	ご指摘区間の用地買収が完了したため、磐田市との連携を一層密にし、当該区間の早期の整備完了を図っていく。
6	事業継続を要望	平成30年には、遠州大橋の無料化の話もあり、交通量の増加も予想されます。工事の早期完成を切に要望する。	磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	最近では、東海地震があまり話題に上がることもありませんが、大地震発生時に海拔約3m地域の為、津波にのみまれる恐れも、又、浜岡原発から31キロ圏内にあるこの地域は、非常事態発生時、いち早く避難する必要があり、事業継続を希望する。	UPZエリア内に位置する当バイパスは、浜松市方面への避難路としての機能を持つため、今後も、磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	浜岡原子力発電所の放射能漏れ事故等が発生した場合、国道150号は避難路となる道路であるため、早期の完成を望む。	UPZエリア内に位置する当バイパスは、浜松市方面への避難路としての機能を持つため、今後も、磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	国道150号線の掛塚橋の渋滞解消のため、事業の早期完成を要望します。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。 磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	東方面へアクセスがよくなるため、継続を希望。沿岸部の活性化にもつながる。整備が進めば西方面への移動も楽になる。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。 磐田市との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 道路改築事業

箇所名: (一)高洲和田線

照会者: 焼津市中新田地区 自治会役員等10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続希望	現道は道路が狭く、朝晩の通勤時間帯は渋滞が発生している。 早急に整備を要望する。	本事業区間の開通により通過交通はバイパスに転換し、現道の交通量は減少することが期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続希望	現道は道幅が狭く交通量も増えてきたため、早急に整備をしていただきたい。	本事業区間の開通により通過交通はバイパスに転換し、現道の交通量は減少することが期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続希望	通勤時間帯の渋滞を防ぐため、早急の工事をお願いする。	本事業区間の開通により通過交通はバイパスに転換し、現道の交通量は減少することが期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続希望	朝夕の通勤車が多く危険であり、交通安全のうえから一日も早い完成をお願いする。 地元住民も便利になり大変ありがたい。	本事業区間の開通により通過交通がバイパスに転換し、現道の交通量が減少することで安全性の向上が期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続希望	域内を通過する車両の円滑化をはかることができ、交通安全性の向上が見込まれるとともに、沿線の土地利用の利便性が向上し地域にとって有益であるので早急に整備されるよう要望する。	指摘のとおり整備効果が期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。
6	見直しを要望	中新田稲荷大住線と交わる中央分離帯はカットしてほしい。児童の通学路でもあり、横断歩道を併設。	指摘の道路が通学路の指定されていることは承知している。バイパス整備後の通学路の扱いについては、市・警察を含めて検討する。
7	事業継続希望	小川島田幹線は保福島大島新田線までマルハンの駐車場部分を除いて完成しているが、交差点に信号機がなく危険極まりない。 早期に東名まで完成していただき、安全な交通網を完成してもらいたい。	本事業区間の開通により、指摘の交差点への信号機設置を強く働きかけることができる。また、公安委員会も交通量の変化により信号機設置の必要性を認識すると思われる。早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続希望	道路が狭く朝晩の通勤時間帯は慢性的な渋滞が発生しており、早急に整備を要望する。	本事業区間の開通により通過交通はバイパスに転換し、現道の交通量は減少することが期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続希望	東名高速下り側道を対面通行にしてもらいたい。	指摘道路の規制は主に幅員の狭さによると考えられるが、本事業の完成により指摘道路の利用状況に影響を与える可能性がある。道路管理者としては、まずは当該事業の早期完成を目指す。現行規制の改廃については、規制に関する権限を有する公安委員会に相談されたい。
10	事業継続希望	農産道路を挟んでなかなか通り抜けが出来ないので計画どおり事業遂行してほしい。 東名以西についても早期に事業計画してほしい。	本事業区間の開通により通過交通はバイパスに転換し、現道の交通量は減少することが期待できる。早期完成を目指して事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 広域河川改修事業

箇所名: 一級河川沼川

照会者: 沼川河川改修事業の受益地区の関係自治会役員等代表者(12名)

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	用地買収や墓地移転等を早く進めて、安全で、安心な放水路を早期に完成してほしい。(6名)	用地買収や関係機関との調整を進めて、早期の完成を目指します。
2	事業継続を要望	大雨が降ると洪水が心配なので、一刻も早く放水路を完成させてほしい。(4名)	抜本的な治水対策である新放水路の早期完成を目指すとともに、暫定調整池の設置や支川の受入れ等による段階的な治水機能の向上も検討します。
3	事業継続を要望	工事にあたり、騒音・振動には十分に気をつけてほしい。	運搬ルートを分散させて、同一ルートの台数を制限するなど徹底します。
4	事業継続を要望	沼川本川についても、護岸工事等を早く行ってほしい。	抜本的な治水対策である新放水路建設を進めるとともに、沼川本川においても、現況護岸の損傷状況を把握し、優先度をつけて計画的に維持修繕事業等による護岸補修を行っていきます。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 広域河川改修事業

箇所名: 一級河川小潤井川

照会者: 吉原地区ほか 町内会長、住民

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	河川改修を行うことにより、浸水被害が減少し安心して生活できることを期待する。 できるかぎり桜並木を残してもらいたい。桜並木の道幅が東側が狭いため、できれば西側に広げるようお願いしたい。	河川改修と既存の環境の両立ができるよう、地域住民の方の意見を取り入れながら、できるだけ桜を残す方法を検討していきます。
2	事業継続を要望	住民の生命・財産を守ることがまずもって優先されるべきものと思います。桜の木の伐採は残念ですが、片側が残るといことであればやむを得ません。 川の容量を増やすために広げるのではなく、掘り下げるとい選択肢はないのですか？	川幅の拡幅は、隣接する住宅や道路、桜の木への影響を考慮する必要があり、河床の掘り下げによる流下断面の確保は、既存施設への影響等を考慮しながら、慎重に検討する必要があります。地域住民の方の意見も取り入れながら、当河川における最適な改修方法を引き続き検討していきます。
3	事業継続を要望	治水事業は吉原地区の最重要課題の1つと考え事業継続を要望します。 小潤井川の工事箇所は、地域住民をはじめ多くの人達に愛されている桜の名所であり、河川愛護・自然とのふれあいの場所として親しまれております。毎年河川清掃・周辺の清掃等実施しております。以上の事から改修後も両岸に桜が残るようお願いします。	河川改修と既存の環境の両立ができるよう、地域住民の方の意見を取り入れながら、できるだけ桜を残す方法を検討していきます。
4	事業継続を要望	河川改修により地区の自然災害等の安心・安全が保たれ生活ができることを期待する。又周辺の交通事情の改善を望む。	事業効果が確実に発現するよう、着実な事業進捗を図っていきます
5	事業継続を要望	河川改修により、局所的な豪雨にも対処でき、大雨警報発令時等にも、河川周辺の住民に安心感を持ってもらえるような改修事業を希望する。 錦橋周辺の地域住民全員に対して改修事業の必要性や具体的な工期・住民側の対応など説明会等を開催してほしい。	工事の実施に当たっては、地域住民を対象とした事業説明会等を実施し、具体的な事業内容・工期等について、随時、情報提供していきます。
6	事業継続を要望	河川改修することにより、治水が保たれるならば河川改修事業は必要です。 朝のウォーキングで鳥を見るのが楽しみですが、河川改修工事をするにより影響はありますか？	河川改修にあたっては、既存樹木を保全するなど、動植物への影響を抑える配慮をしていきます。
7	事業継続を要望	小潤井川右岸に位置する当町内において、H26年10月6～7日台風18号により道路の冠水が生じ、外水氾濫、内水氾濫の報告も多数受けているため、流下能力不足である小潤井川の河川改修事業の継続を望む。 鬼門橋から錦橋の区間は、護岸からの支障木が多数確認できるため、計画的な除去をお願いしたい。	河川改修を着実に進め当地区の治水安全度を向上させるとともに、既存施設の効果が適切に発揮されるよう、河道内の支障木撤去等の維持管理を計画的に行います。
8	事業継続を要望	未改修箇所においては大雨時に溢水の危険があるように感じられるため。	事業効果が確実に発現するよう、着実な事業進捗を図っていきます
9	事業継続を要望	現状が完成断面で無いのであれば事業を継続し、周辺地区住民が安全安心して暮らせる環境を整えて欲しい。	事業効果が確実に発現するよう、着実な事業進捗を図っていきます
10	事業継続を要望	香西新田の市道弥生線の道路冠水は市道沿いの排水堀による内水氾濫により生じ、その原因の1つである小潤井川の流下能力不足を解消してほしい。	事業効果が確実に発現するよう、着実な事業進捗を図っていきます

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 広域河川改修事業

箇所名: 二級河川 萩間川

照会者: 萩間川河川改修事業の受益地区の区長等代表者(10名)

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	安心な暮らしの確保のため、水害に強い河川工事の事業を要望する。(2名)	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業進捗を図ってまいります。
2	事業継続を要望	この地域は河川が狭く曲がっているため、氾濫による水害を再三受けている。河川改修により川の氾濫は無くなると思うので、災害が発生する前に計画の前倒し実施を要望する。(3名)	水害被害の軽減に向け、事業効果の早期発現を図れるよう、事業を推進してまいります。
3	事業継続を要望	東中橋(2.6km)くらいまでの改修を要望する。	整備区間はご指摘された区間を含む、港橋(河口から0.9km)から菅ヶ谷川合流点(3.0km)までとしております。
4	事業継続を要望	昔は雨が降り出して3時間ぐらいで水位が上昇したが、今は1時間ぐらいで水位が上昇するので、河床掘削を要望する。	本事業では河道拡幅等により流下能力の向上を目的とした整備を進めていますが、併せて河床掘削等の適切な維持管理により流域の安心・安全が確保されるよう取り組みます。
5	事業継続を要望	改修には景観にも配慮するよう要望する。	堤防法面は隠し護岸にするなど、周辺の景観に配慮しながら事業推進に取り組みます。
6	事業継続を要望	現段階では堤防が低いので、堤防を高くするよう要望する。	萩間川では、堤防かさ上げや河道掘削による河川改修を計画しています。整備にあたっては、先に堤防を高くしてから河川断面を広げるなど段階的に事業効果が発現できるよう進めてまいります。
7	事業継続を要望	川の土手を散歩コースとして利用したり、桜を植えて桜の名所としたい。	地域の皆様のご意見を参考にすると共に、河川施設としての機能が適切に保持される様、事業推進に取り組みます。
8			
9			
10			

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 広域連携事業

箇所名: 二級河川 黒石川

照会者: 黒石川河川改修事業の受益地区の自治会役員等代表者(11名)

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	河川は洪水を未然に防ぐ要である。絶えず検証を続けていただきたい。災害が発生してからでは遅い。(1名)	引き続き、整備の進捗管理と整備効果の検証を行い、早期完成を目指して事業を推進します。
2	事業継続を要望	上流部の都市化、住宅化を考えると出水期に護岸が耐えられるか不安である。部分的に自然堤防の状態になっているので、護岸工事をさらに強化すべき。(1名)	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
3	事業継続を要望	出水期の黒石川の河川流量、水位などについて監視が必要ではないか。(1名)	流量、水位等に注意をはらいながら、早期完成を目指して事業を推進します。
4	事業継続を要望	やりかけた事業は最後までできるだけ早く終了してもらいたい。(1名)	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
5	事業継続を要望	工事終了後の流域河川の土手、法面の環境整備はどのように考えているのか。(1名) 縦割り行政の弊害がないよう、県、市との整合性を図り、地域住民と協議をお願いしたい。	環境整備については、県、市及び地元住民とで今後協議をしていきます。
6	事業継続を要望	水産技術研究所付近(新川橋付近)の工事が中途半端に見える。(1名)	今後、橋梁の架け替えに合わせて、護岸工事を実施する予定です。
7	見直しを要望	工事完了までの期間が長すぎる。(1名)	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
8	事業継続を要望	河川に植えてある木に虫が発生し、苦情が多い。(1名)	河川内に樹木がある場合は、工事に合わせて伐採しています。また、新しくできた堤防に樹木を植える計画はありません。
9	事業継続を要望	川が安全になることはいいことだと思う。(1名)	流域の安全・安心が確保されるよう、今後も事業を推進します。
10	事業継続を要望	現状どおりでよい。(4名:複数回答者含む)	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指すとともに、流域の安全・安心が確保されるよう、事業を推進します。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 総合流域防災事業

箇所名: 一級河川西方川

照会者: 西方川河川改修事業の受益地区の自治会役員等代表者(11名)

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	平成20年度西方川総合流域防災事業として県の河川整備計画が国において新規事業として採択され以来、9年が過ぎている。早期完成を要望します。また、上流部において未改修河川が存在している。大雨による災害が発生する状況ですので、改修工事区間の延長をお願いする。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。 現時点で限られた予算で効果を発現するため、現在の事業区間を集中的に整備を行っており、上流部の未改修区間については要望を踏まえ今後検討していきます。
2	事業継続を要望	現在進められている防災事業は地元住民の長年の悲願であるとともに、西方川流域住民の生命と財産を守るうえでも必要不可欠な事業と認識しております。現時点では上流部の工事が進捗中のため、大雨等においては今迄通り現西方川に対する不安は続いております。是非とも早期完成に向けた事業継続を要望します。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
3	事業継続を要望	一日も早い事業の完成をして安心安全な地域にしてもらいたい。完成すれば地域の親水公園にして住みよいところにしてもらいたい。工事中では通学路もからんでいるので、早く終わって重機、車両等が片付けばよいと思う。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。 事業区間では1号橋上流の島川公会堂横など3か所で、川に下りられる階段を設置することとしており、水に近づける構造としています。
4	事業継続を要望	局地的豪雨に備えて早期の完成をお願いしたい。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
5	事業継続を要望	もう少しスピードアップして、工事をしていただけるとありがたい。またその後上流地域(沢田地区)に於いても大雨などにより氾濫し道路冠水しています。以上のことを考えても事業の継続を強く依頼します。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。 現時点で限られた予算で効果を発現するため、現在の事業区間を集中的に整備を行っており、上流部の未改修区間については要望を踏まえ今後検討していきます。
6	事業継続を要望	工事開始以来完成地域には新築住宅も多く建ち、人口増加等多方面に流域防災事業効果は大だと思います。早期完成と通水の日を事業継続早期完成を要望いたします。	流域の治水安全度が向上したことにより、人口・世帯の増加につながっている効果もあると考えています。 引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
7	事業継続を要望	昨今の異常気象等考えると早期完成を頂けますようお願いいたします。以前は河川に近い人達は年2.3回は床下、床上浸水被害にあっていたと聞いています。治水事業は最優先だと考えます。計画されている区間の早期完成に向け、一層の御努力をお願いいたします。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指すとともに、流域の安全・安心が確保されるよう、事業を推進します。
8	事業継続を要望	ここまで工事が進んでいて見直し、中止はあり得ないことだと思う。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
9	事業継続を要望	事業中止は絶対にやめていただきたい。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
10	事業継続を要望	(記入なし)	
11	事業継続を要望	県道の迂回路のため、旧道に出なければならなくなっている。早く河川の改修が終わり元の県道に出られるようになることを切に望みます。	引き続き、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。 県道の迂回路については、平成29年度中に撤去を行い元の県道の形態に復旧します。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 侵食対策事業

箇所名: 浜松五島海岸

照会者: 侵食対策事業の受益地区の自治会長など代表者 10名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂浜の回復・維持は海洋生物にとって非常に重要なことです。引き続き、事業を推進し、海岸保全に努めてください。	適切な海岸保全に努め、良好な海洋生物の環境を保つことができるよう、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	砂浜は侵食が進んでおり、防風林も松食い虫に侵されている状況にある。団地もあることから砂浜の回復について出来る限り事業を続けてほしい。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。背後地の土地利用を鑑みて、国土保全の必要性からも、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	50～60年前は天竜川からの土砂運搬があったが、ダムが出来たことにより侵食が進んだ。ダムも必要があつて整備されており、海岸侵食を考えればダムを取り壊せばいいがそれも出来ない。ここまで侵食が進むとは誰も思っていなかったと思う。海岸に砂を入れてもそれで落ち着くのか疑問はあるが、そのまま放置すれば侵食は進むため、いろいろ考えて事業を進めてほしい。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。天竜川からの土砂供給のバランスについても、関係機関と調整を行い、適切な対策を行っていけるよう心掛ける。侵食対策として行っている、本事業については、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	天竜川は洪水によって瀬が変わり河口付近も流れが変わる。海岸侵食は佐久間ダムが出来たことによる土砂流出がなくなったことが原因ではないかと思う。地元住民として海岸を見てきたが10年前に比べても西遠浄化センターの南側の侵食は著しい。土砂を入れても侵食に追いつくのかは疑問はあるが、対策を講じていただく必要はあると思う。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。天竜川からの土砂供給の今後の在り方等についても、関係機関と検討を行い、適切な対策を行っていけるよう、定点測量を行い、事業の効果の検証を行っていく。侵食対策として行っている、本事業については、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	砂浜が回復することが望まれるが、少なくとも現状が維持されるよう事業を継続してほしい。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。背後地の土地利用を鑑みて、国土保全の必要性からも、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	侵食の原因として佐久間ダムなどによる砂の供給がなくなったことがある。防潮堤も整備しており、海岸侵食がこれ以上進まないように事業を推進してほしい。侵食対策はすぐにはできないものではないと思うので地道に進めてほしい。海岸侵食の推移については地元住民が最も詳しいので、事業の進め方については地元住民に意見を聞いてもいいのではないかと思う。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。天竜川からの土砂供給の今後の在り方等についても、関係機関と検討を行い、適切な対策を行っていけるよう、定点測量を行い、事業の効果の検証を行っていく。侵食対策として行っている、本事業については、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	西遠浄化センターの南側の侵食が著しい。波浪の際は堤防護岸まで波が押し寄せており、堤防がいずれ損傷するのではないかと心配している。整備中の防潮堤を大事にしていかなければいけないと思っており、そのためにも養浜のための突堤工の整備を進めていただきたい。事業の推進を強く希望する。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。背後地の土地利用を鑑みて、国土保全の必要性からも、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	突堤工の整備を進めていることも承知しているが、あの程度で効果があるのか素人としてはよくわからないが、これ以上砂浜が侵食されるのは困るので海岸保全に努めてほしい。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。背後地の土地利用を鑑みて、国土保全の必要性からも、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	防潮堤に関しては地元の意見としては高評価。これに比べて目立ちはしないが侵食対策を地道に進めていることは評価したい。現在の技術で可能な範囲でこれ以上侵食が進まないように対策を行っていただければいいのではないかと思う。	国土保全の必要性からも、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	ここ15年を考えると海岸侵食は進んでおり、天竜川河口もやはり。離岸堤があるところは砂が付いているが東側(天竜川寄り)は突堤も整備中であるがまだ砂の付が少ないように思う。シラスウナギは自然相手であるがシラスウナギの採捕に配慮していただきながら事業を進めていっていただきたい。	依然として砂浜の侵食が進んでいることは、十分認識している。シラスウナギの採捕時期に配慮し、工事時期を調整した上で、早期完成を目指して事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 竜洋海岸侵食対策事業

箇所名: 磐田市中平松地先

照会者: 竜洋東地区長 ほか11名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を希望	事業実施しているが、海岸侵食は進行している。抜本的な対策を行ってほしい。(12名)	十分な効果が確認できていないことは認識している。今年度、長期的なシミュレーションにて対策を検討し、事業を推進していく。
2	事業継続を希望	現在は短期対策としての養浜事業だと思うが、長期対策についても検討して頂きたい。(12名)	今年度、遠州灘沿岸の長期的なシミュレーションを実施し、天竜川を管理する国と連携しながら対策を検討していく。
3	事業継続を希望	防波堤前の土砂を撤去して頂きたい。	養浜材が不足しているため、防波堤前の土砂を撤去し養浜材として利用する方向で検討している。早期着手に向け調整していく。
4	事業継続を希望	現在、侵食している箇所に離岸堤を設置することが短期対策として有効ではないか。	遠州灘沿岸の侵食対策として、構造物は最小限としている。今年度のシミュレーション結果や有識者からなる遠州灘侵食対策検討委員会の助言に基づき設置の有無も含め検討する。
5	事業継続を希望	遠州灘沿岸の侵食は天竜川からの土砂供給も影響していると聞いている。管理者が違うとは思いますが、国と県と連携をとってこの問題に取り組んで頂きたい。	現在使用している養浜材も天竜川の浚渫土砂を利用しており、常に情報共有している。引き続き、国と県で協力し侵食対策に取り組んでいく。
6	事業継続を希望	竜洋海岸の侵食の進行は地元も危惧している。今回のような説明会を定期的に関催して頂きたい。(12名)	今後は、定期的に地元会合等の時に伺い、情報提供していく。
7			
8			
9			
10			

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 火山砂防事業  
 箇所名: 安居山沢右支川  
 照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に25人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった25人のうち22人の住民が砂防堰堤の早期完了を望んでいる。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	残り3名からは、特に意見はなかった。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 大久保  
 照会者: 大久保急傾斜地崩壊対策事業の受益者7名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった7名のうち100%の住民が施設整備の早期完了を望んでいる。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 小浜アハラ  
 照会者: 小浜アハラ急傾斜地崩壊対策事業の受益者44名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった25名のうち、88%の住民が施設整備の早期完了を望んでいる。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	がけ崩れ防止のためのこの事業は大事だが、いつ時点での質問かどうかが分かりづらい。	今後、事業評価に関するアンケートを実施する際には、アンケートの質問文について、〇月〇日時点等の記載をします。
3	今すぐの工事着手でなくてもよい。	県内では、小浜地区よりも土砂災害の危険性が高い地区があることから、そういった箇所を優先して対策工事を進めても構わない。	他の急傾斜地崩壊対策事業の要望がある箇所についても、要望順位や現地状況を確認し、予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料6

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 清水港海岸

照会者: 高潮対策事業の受益者(地元住民及び港湾関連企業)

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	10年以上前から防潮堤の早期完成を要望しており、未だ完成していないため、引き続き早期完成を要望する。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
2	事業継続を要望	防潮堤の未完成箇所から津波が侵入し、今までの整備も無駄になるため、早期に全区間の完成を望む。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
3	事業継続を要望	整備高さが不足している既設の防潮堤についても、早急に嵩上げ工事を実施してほしい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
4	事業継続を要望	L2津波に対して防潮堤を整備してほしい。また、陸側にさらに堤防を整備する二重防護も実施してほしい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
5	事業継続を要望	既設の防潮堤が老朽化しており津波に対して不安なため、防潮堤を改良及び嵩上げし、周辺の未整備区間も整備してほしい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
6	事業継続を要望	事業継続活動に関係するため、防潮堤を早期完成させ安全・安心な事業活動ができるよう期待します。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
7	事業継続を要望	事業(営業)活動にも影響を与えるため、防潮堤の早期完成を望みます。	早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	津波の被害が予想され人口減少が激しく、地域の活力が低下しているため、防潮堤を早期完成させ、安全・安心を確保してほしい。	早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	高齢化世帯が多く、移転や避難が困難なため、防潮堤の早期完成を望む。	早期完成を目指して事業を推進する。
10	見直しを要望	清水区役所の移転やその他の事業計画と十分な調整を図り、実施してほしい。	各種計画変更や土地利用等の変化に留意して事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料6

事業名: 海岸環境整備事業

箇所名: 熱海港海岸

照会者: 受益者10名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	【渚】 事業継続を要望	熱海に移住して5年以上経ちました。ほぼ毎日、海岸の散歩を楽しんでいます。このすばらしい景観を訪れる皆様にもぜひ楽しんでいただきたいと思います。第4工区(建設中)の整備事業のスピードアップをお願いします。	予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
2	【渚】 事業継続を要望	親水公園第4工区は事業が中断されている様に思えるが、早急に事業をすすめてほしい。	予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
3	【渚】 事業継続を要望	整備事業について大賛成です。今現在でも、散歩などしていても、とても素敵で仕事で今は海外に行けなくてもあそこを歩いているだけで、海外に行った気持ちになり、気持ちがリセットされますので第4工区もきれいになれば、もっと良くなると思います。	予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
4	【渚】 事業継続を要望	渚地区の最後の工事となる場所です。これで熱海の海岸が生まれ変わるということですね。狭い熱海の海岸を有効に活用することには賛成です。むしろ早く工事をしていただければ有難いです。	予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
5	【渚】 事業継続を要望	第4工区の整備が、滞っているように感じられる。出来るだけ早く整備することを望む。	予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
6	【多賀】 事業継続を要望	今のままでは中途半端なので、完成させてほしい。犬を飼っているので、ドッグランができれば嬉しい。	渚地区の整備完了後、多賀地区の南工区に着手する予定である。着手にあたっては、地域住民の意見を取り入れ、周辺環境に配慮した整備を検討していく。
7	【多賀】 事業継続を要望	当初は長浜海浜公園の整備事業には莫大な費用がかかるため反対でしたが、北工区ができてから考え方が変わりました。今は、天気の良い日は散歩に利用させてもらっています。多賀地区のために、費用がかかっても南工区の完成を目指して欲しい。	予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
8	【多賀】 事業見直しを要望	公園の整備事業よりも、防災、津波、地震等の対策の方が先だと思えます。	地域住民や観光関係者等が参加する地区協議会において、津波対策と連携した事業計画の見直しを検討しており、親水機能と防災機能を備えた海岸緑地の整備を進めていく。
9	【多賀】 事業継続を要望	北工区はとても良くなりうれしいです。地元住民、観光客の利用が増加しています。南工区も早く整備してほしい。宜しくお願いします。	渚地区の整備完了後、多賀地区の南工区に着手する予定である。予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。
10	【多賀】 事業継続を要望	南工区を1日も早く着工してもらいたい。北工区の状況を見れば南工区を着工しないという選択肢はあり得ない。お金がかかるのは理解しますが、何とか知恵をはたらかせてほしい。	渚地区の整備完了後、多賀地区の南工区に着手する予定である。予算の確保に力を入れるとともに、コスト縮減をはかり早期完成を目指して、事業を推進する。

平成29年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料6

事業名: 街路整備事業  
 箇所名: 都市計画道路袋井駅森線  
 照会者: 袋井市山名地区自治会長及び住民 17人

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	渋滞、通学路の安全確保の上から、早急に進めてほしい。	交差した県道も含めた渋滞解消及び通学路の安全性向上が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	地権者の交渉を早くして進めてほしい。住民の関心も高い。	今後も関係する権利者との交渉を早期に進め、住民の期待に応えるよう早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	出来るだけ早く落ち着けるよう、事業を進めてほしい。	今後も残りの工事を着実に進め、住民の期待に応えるよう早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	日常生活においても、不便な点が多いので早期完成を望む。	今後も残りの工事を着実に進め、住民の期待に応えるよう早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	交差点形状の改良を早く進めてほしい。	交差した県道も含め渋滞解消が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	道路排水対策も含め、事業継続も要望する。	事業区間沿線の道路排水処理が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	地区の発展のために必要な事業である。住み良いまちづくりのため事業継続を要望する。	安全・快適で効率的な市街地空間を形成し、豊かさを実感できる都市生活を実現するため、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	道路の線形改良が図られるため、早期に進めてほしい。	事業区間沿線の安全対策が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
9			
10			